

九重山

○概 況

火山活動に大きな変化は認められず、引き続き静かな状態でした。

○噴煙活動の状況

噴煙は白色・少量、噴煙高度の最高は 600m(4 月：500m)で、特に異常は認められませんでした(図 1、図 3)。

○地震・微動活動の状況

火山性地震の回数は 17 回(4 月：44 回)で、1 日あたり 0～3 回と少ない状態で経過しました(図 2、図 4、図 5)。地震の震源は、硫黄山付近と久住山の北西 5～6 km 付近でした(図 6)。火山性微動の発生はありませんでした。

○地殻変動の状況

GPS による地殻変動観測では、長者原 - 牧ノ戸峠、長者原 - 坊ガツル、牧ノ戸峠 - 坊ガツルの各観測点間の基線長には、火山活動に起因する変化は見られませんでした(図 7)。

○火口や噴気地帯の状況

20～24 日に火山機動調査観測を実施しました(図 9～13)。噴気地帯の状況に変化は見られませんでした。

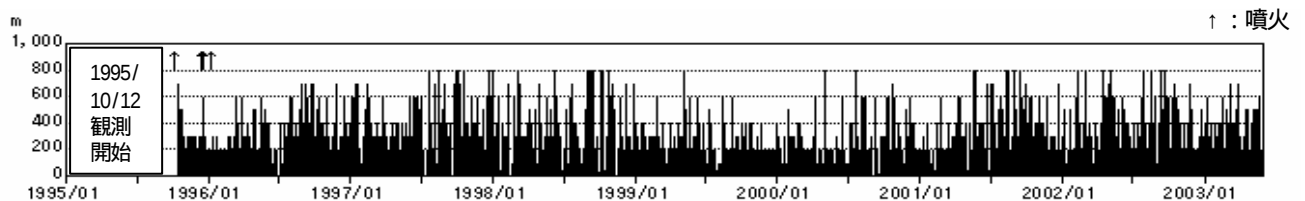


図 1 日別噴煙最高高度(1995 年 10 月 12 日～2003 年 5 月 31 日)

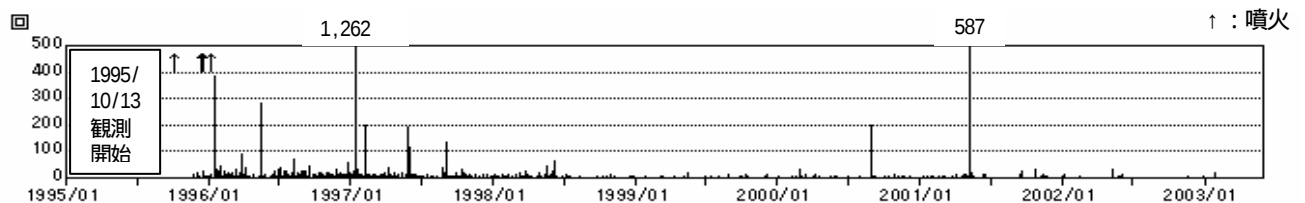


図 2 日別地震回数(1995 年 10 月 13 日～2003 年 5 月 31 日)

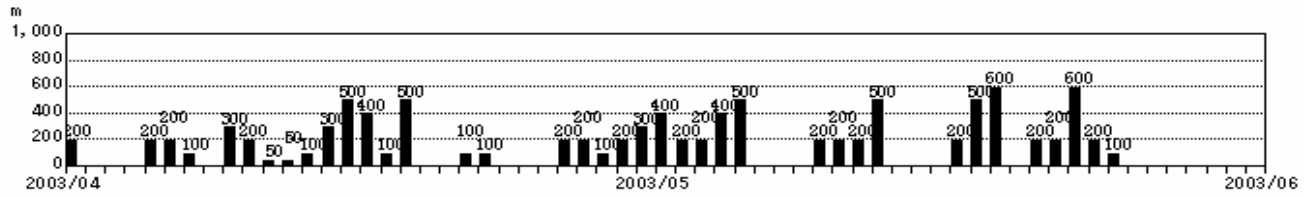


図3 日別噴煙最高高度(2003年4月1日～5月31日)

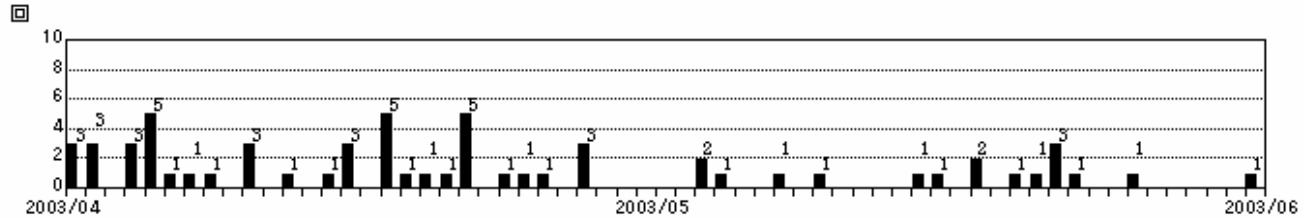


図4 日別地震回数(2003年4月1日～5月31日)

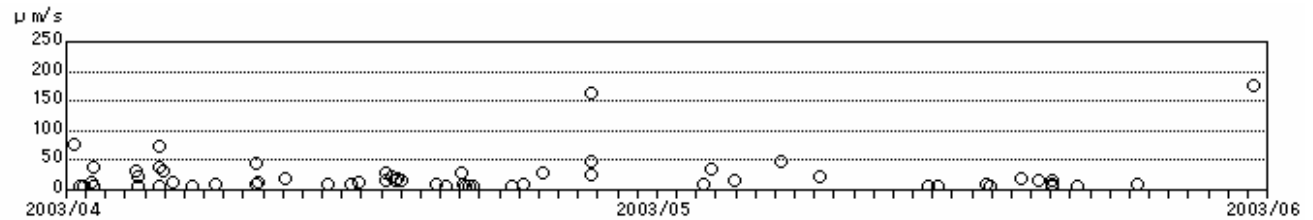


図5 火山性地震の最大振幅(A点上下動)(2003年4月1日～5月31日)

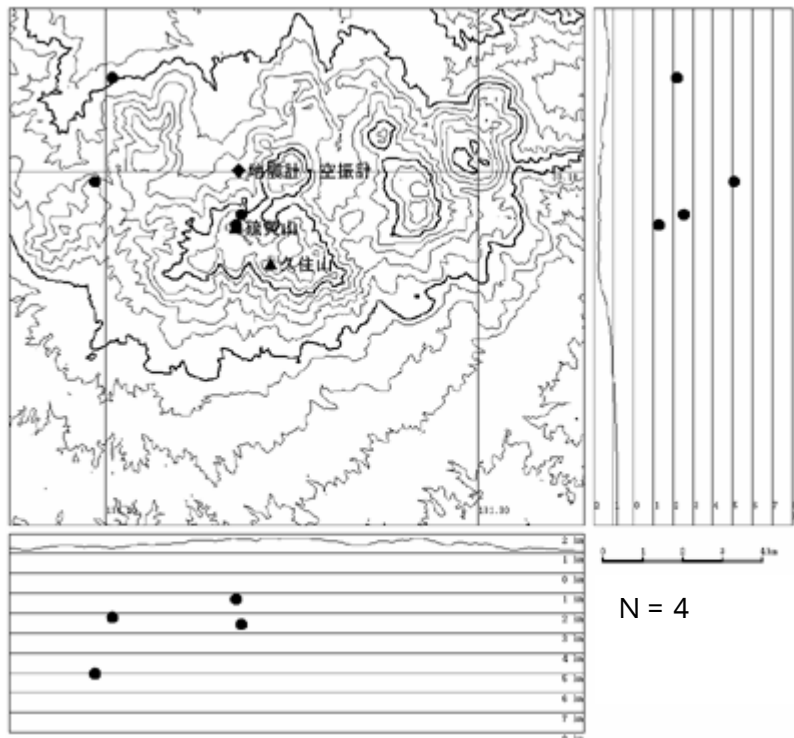
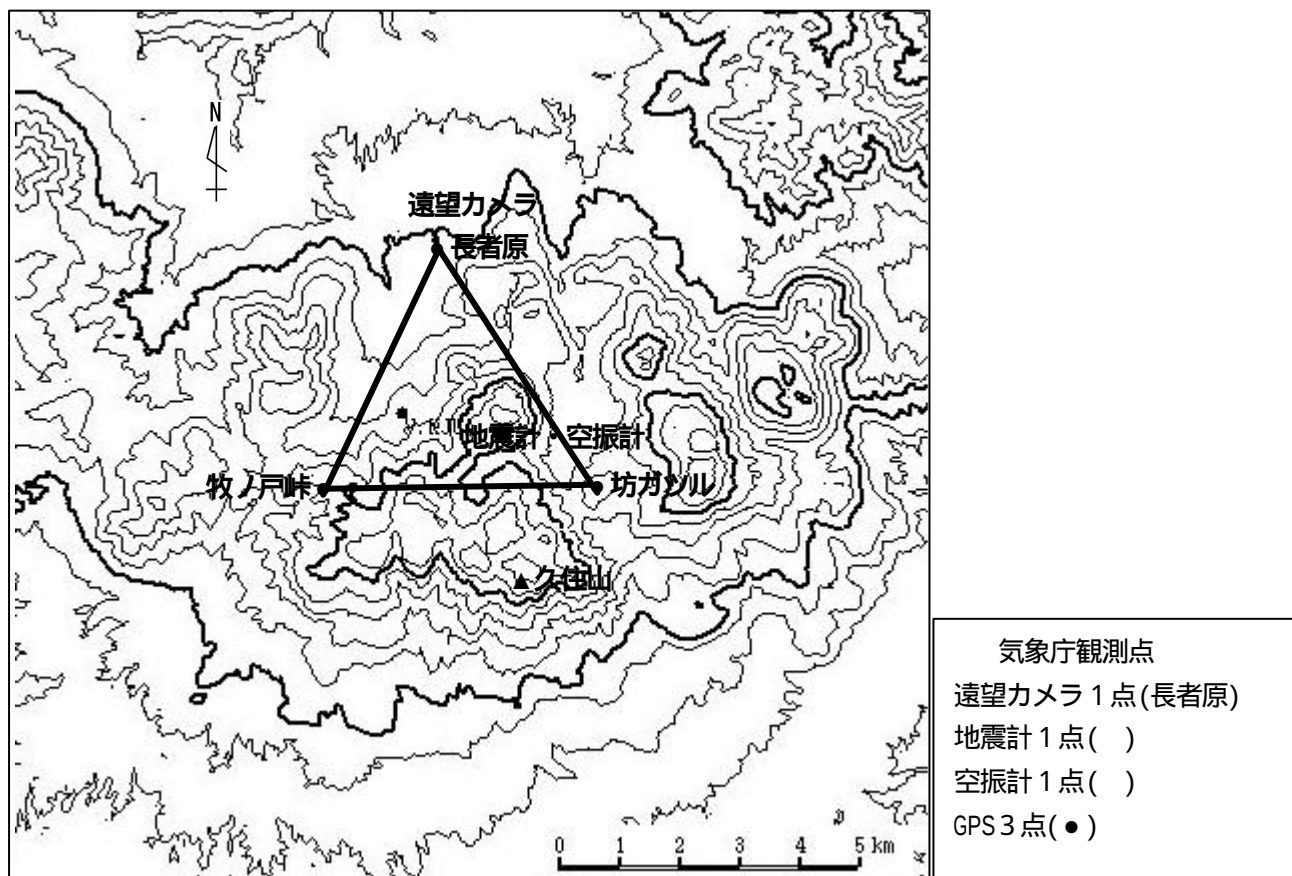
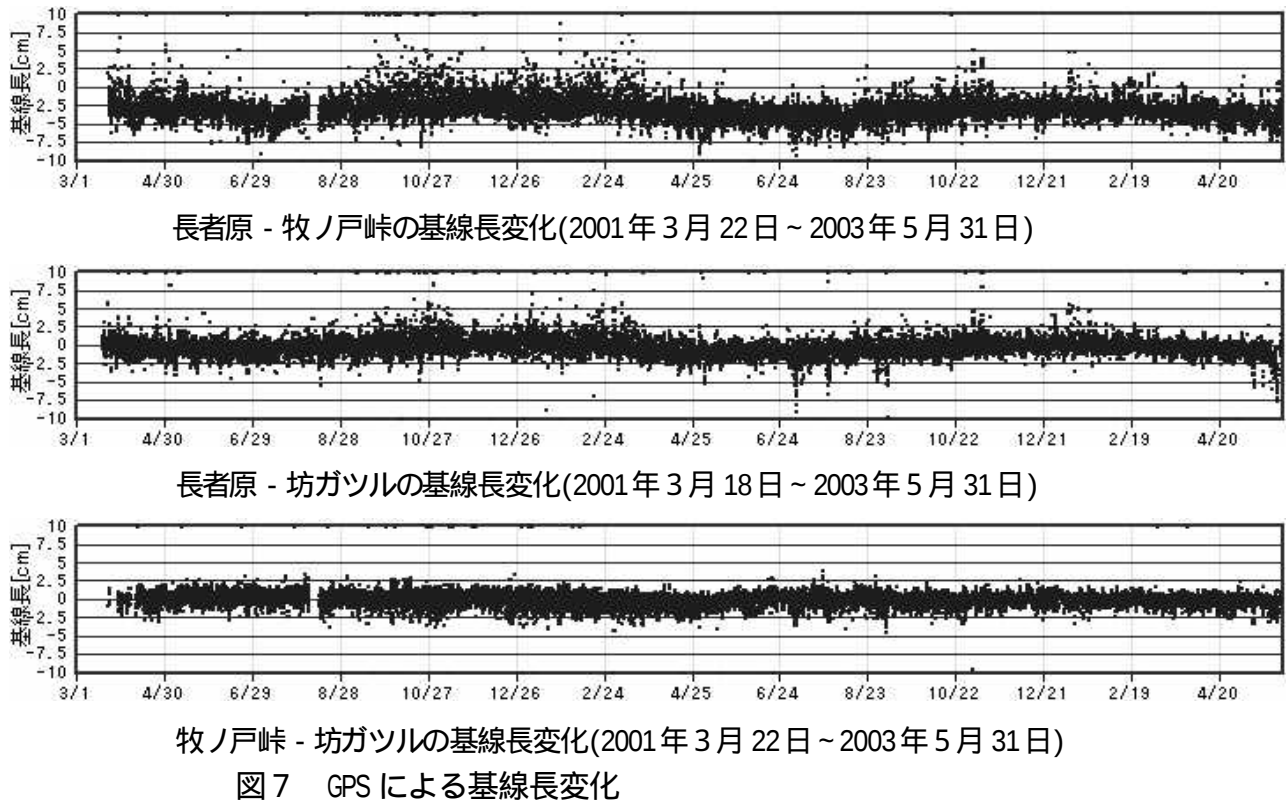


図6 火山性地震の震源分布(2003年5月1日～31日)
(広域の地震観測網と火山の地震観測点を使用して震源を求めた。)



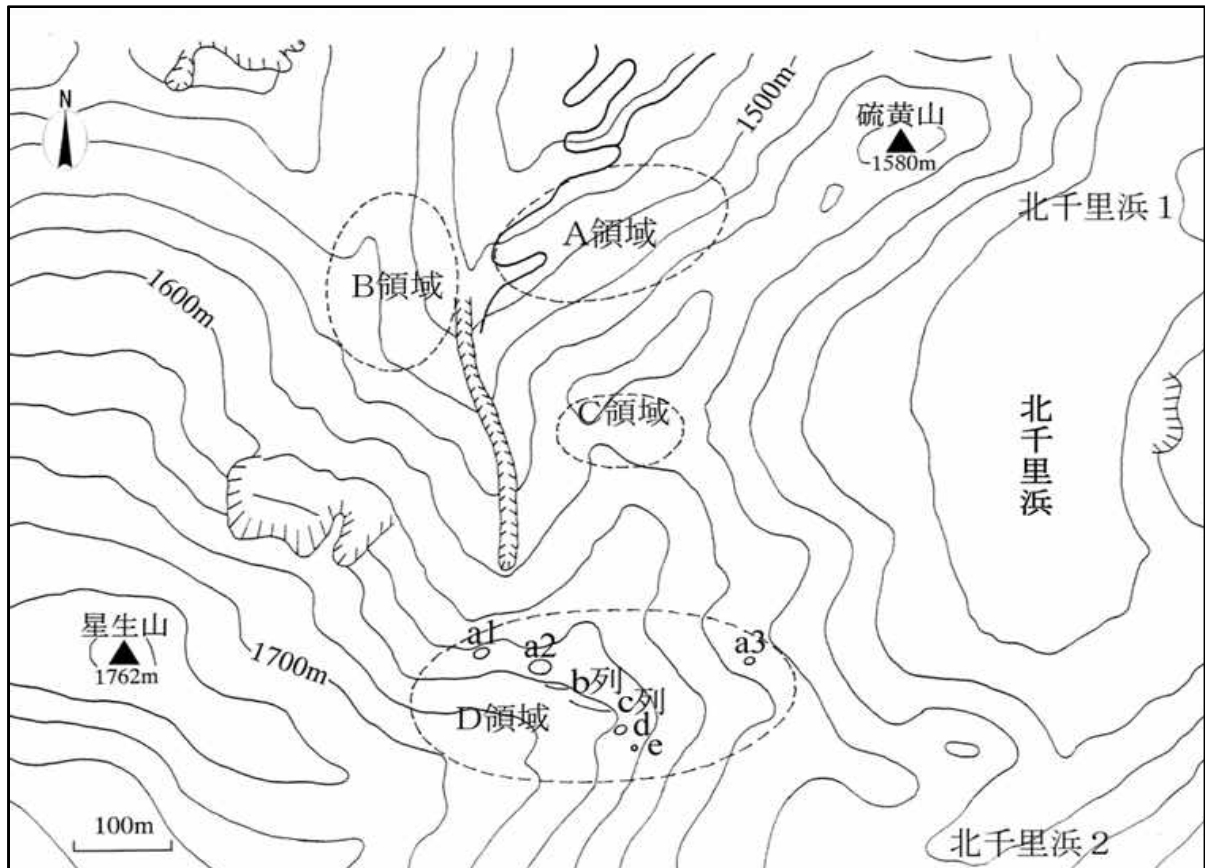


図9 九重山現地観測点位置図

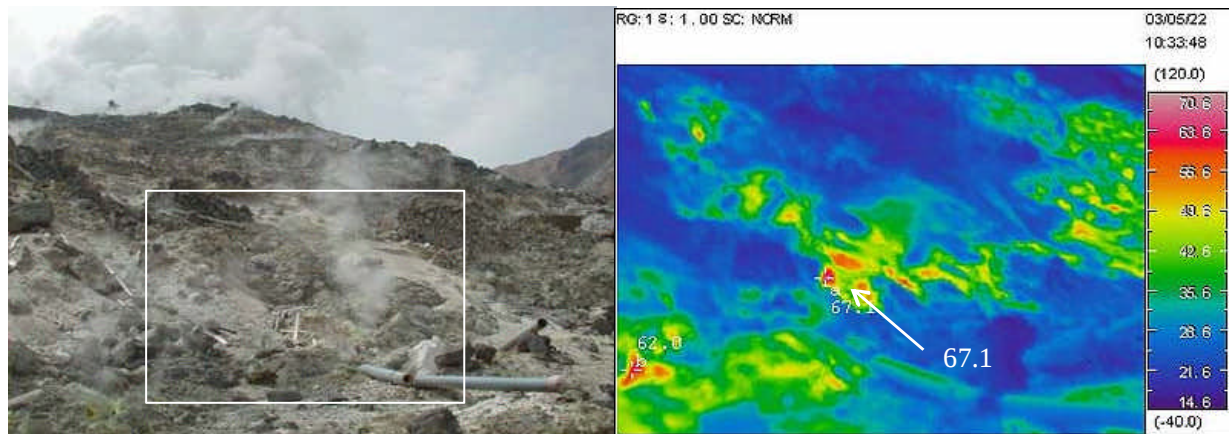


図10 A領域の状況と熱映像(北側より撮影)

(噴気の色は白、高さは5 mで南に流れていました。噴気音は小さく、勢いもありませんでした。また、明らかに感じる程度の硫黄臭がありました。赤外熱映像装置による最高温度は 67.1 、前回(2002 年 11 月 26 日)は 70.8 でした。)

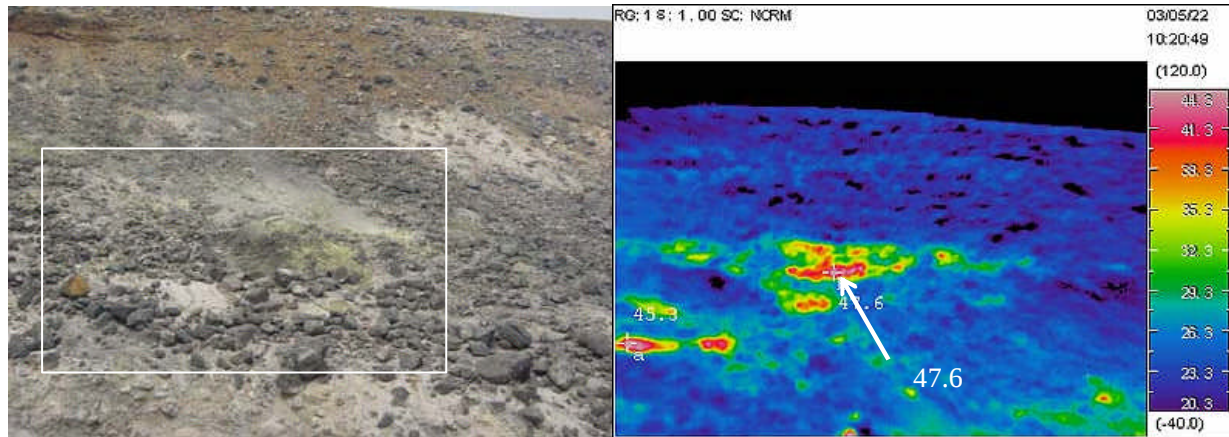


図 11 B領域の状況と熱映像(東側より撮影)

(噴気の色は白、高さは3mで南に流れていました。噴気音は小さく、臭気は不明でした。赤外熱映像装置による最高温度は47.6、前回(2002年11月26日)は43.7でした。)

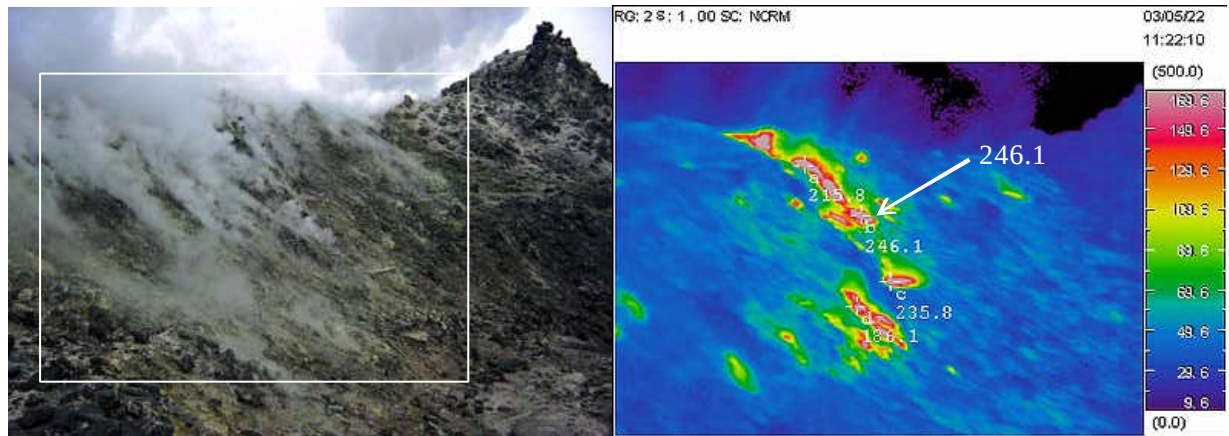


図 12 C領域の状況と熱映像(南側より撮影)

(噴気の色は白、高さは300mで直上に上がっていました。勢いは強く、明らかに聞こえる程度の噴気音がしました。また、明らかに感じる程度の硫黄臭がありました。赤外熱映像装置による最高温度は246.1でした。)

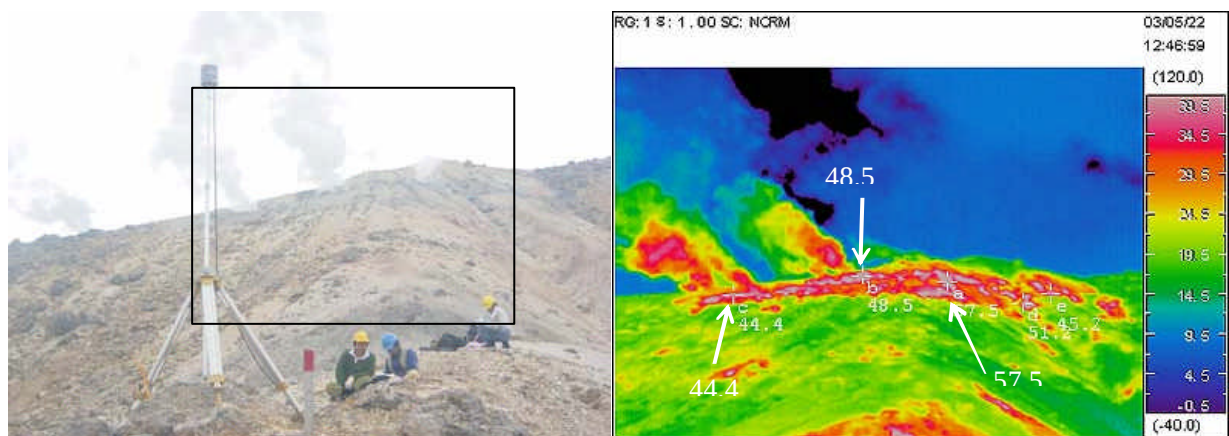


図 13 D領域の状況と熱映像(北側より撮影)

(噴気の色は白、高さは100mで直上に上がっていました。勢いは強く、明らかに聞こえる程度の噴気音がしました。また、明らかに感じる程度の硫黄臭がありました。赤外熱映像装置による最高温度は48.5、前回(2002年11月26日)は40.6でした。)